

入 試 年度	2026 年度	入試時期	I 期入学試験	実施日	2025 年 9 月 17 日
課程	博士前期課程	研究科	文学研究科	専攻・ コース	日本文学専攻
入 試 方式	外国人留学生入学試験		試験科目	日本語	
「解答」または「解答例」及び「出題の意図」					
【出題の意図】					
日本文学専攻で特に必要とされる日本語運用能力について、日本語に関する知識・教養、日本語による論理的かつ平明な説明能力、さらには文学史や文学的表現の読解力を確認する。					
問題					
大山康晴『勝負のころ』を題材に、師匠が弟子をどのような観点で指導するのかを読み解き、ひいては、研究の道に進んだときの心構えについても考えられるような内容の箇所を出題した。					
問一 「勝って帰ったのに、先生の機嫌が悪い」とあるが、その理由を述べよ。					
【解答例（採点時の観点）】					
師匠は、単なる勝ち負けではなく、戦いかたについても要求するところがあったことを、読み解けて、日本語化できているかを採点時の観点とした。					
問二 「とんと」を言い換えたものとして最も適切なものを、次の中から選び、記号で答えよ。					
【解答例（採点時の観点）】					
口語的な日本語副詞の「とんと」を適切に、標準的な言いかたに改められるかを採点時の観点とした。					
問三 「先生は起きていてくれて」に現われている、木見先生の気持ちを説明せよ。					
【解答例（採点時の観点）】					
少々高度ではあるが、このときの大山康晴が、まだ子どもであることが文書の注などから読み解けて、単なる勝負の弟子とだけ見ているわけではなく、純粹に心配しているところがあるのだという、心の機微が読み解けているかを採点時の観点とした。					
問四 「いまのようなやり方」とはどういうやり方か、説明せよ。					
【解答例（採点時の観点）】					

これまでの内容を整理して説明できる日本語力があるかを採点時の観点とした。

問五 「苦しんで、ほかにもっといい手はないかと考える」を「ムダな労力だ」とも言っているが、矛盾にはならないのか、説明せよ。

【解答例（採点時の観点）】

一見矛盾に見えるような表現を、論理的に整理して、ムダが実はムダではないことを、順序立てて分かりやすく日本語として説明できるかを採点時の観点とした。

問六 文学研究あるいは語学研究を行う上でのムダの大切さについて、経験を踏まえながら、自由に述べよ。

【解答例（採点時の観点）】

引用部分のテーマの一つとなっている、いまのムダが実は未来の糧となることについて、自分自身の問題として、文学・語学研究のうえで想像できるか、また、それを日本語化できるかを採点時の観点とした。

合否判定の方法及び基準

入学試験は文学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。

合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを基準として、総合的な視点により判断しております。